

くらしのセミナー

「楽しい旅行をするために～旅行トラブル回避法～」を開催しました

1月30日（火）青年の家において、くらしのセミナー「楽しく旅行をするために～旅行トラブル回避法～」を開催しました。

今回の講座では、（一社）日本旅行業協会から講師をお招し、主に海外旅行におけるトラブルを上手に回避するために必要な知識を学びました。

楽しく安全な旅行をするためには、「旅行業協会に加入している旅行会社を選ぶこと」がポイントで、そのような会社であれば、万が一契約上のトラブルが発生しても、旅行業協会がその解決に応じてくれるとのことでした。

講師が現役の旅行会社の社員ということもあり、実例に基づいた非常にわかりやすい内容で、参加された方々は真剣に聞き入っていました。



講師の安東先生は現役の旅行会社員



身近な内容に参加者も聞き入っています

消費生活相談・多重債務相談 《相談無料・秘密厳守》

旭市消費生活センター 旭市二の5127（旭市青年の家1階）

月曜日～金曜日（平日）午前9時～午後4時 直通電話 0479-62-8019

こんな相談がありました ～ガソリンスタンドの無料点検で部品交換を勧められた～

〇〇が
もらえる！



消費者庁イラスト集より

Q

「ガソリンを給油すると景品がもらえる」という新聞の折り込みチラシを見て、ふだん利用しないガソリンスタンドに立ち寄った。給油中に「タイヤ空気圧の無料点検をします」と言われお願いしたところ、整備士は摩耗を指摘し、危険だからと交換をすすめられた。半年前に、ディーラーからそろそろ交換が必要だと聞いていたので、この機会に交換することにした。店内で待っていると整備士に呼ばれ、「バッテリーが危険な数値を示している」とまた交換をすすめられた。無断で点検したことに違和感を抱いたが、危険なら仕方ないと思い交換に応じた。ほかにも様々な補充や交換をすすめられたが断った。

給油だけするつもりで訪れたガソリンスタンドで、危険だから、といきなり言われたら、困惑してその場でお願いしてしまう場合もあり、行き過ぎた勧誘だと思うが業者に指導できないか。

A

ガソリンスタンドに立ち寄り、このままでは危険だと不安をあおられ、タイヤ、オイル、部品の交換や修理をすすめられたという相談が全国で多く寄せられています。交換や修理を依頼した結果、高額な出費を突然求められたという事例も見られます。

すすめられた交換や修理が本当に必要か、疑わしい場合はその場で依頼せず、日ごろ車の整備で利用している整備工場などに相談してから決めるなど、慎重な心構えを持ちたいものです。

センターから事業者に指導する権限はありませんが、相談者からの情報を啓発などの場で被害防止に役立たせていただく、と感謝の意を伝えました。